

体育

2 年

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）
1 学習の到達目標							
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。		生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするともに、健康・安全を確保する態度を身に付けている。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		

保健

2 年

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）
1 学習の到達目標							
生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、生活行動や環境を改善していく資質や能力、実践力を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性の理解を深めているとともに、技能を身に付けようとしている。		・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に学習に主体的に取り組もうとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、到達度テスト、授業態度、出席状況、提出物等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、到達度テスト、授業態度、出席状況、提出物等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、到達度テスト、授業態度、出席状況、提出物等を総合的に判断して評価を行う。		

スポーツ概論

2 年スポーツ健康

教科	保健体育	科目	スポーツ概論	単位数	1	教科書名(発行所)	基礎から学ぶスポーツ概論 (大修館書店)
1 学習の到達目標							
各ライフステージにおけるスポーツの多様な楽しみ方、ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方などを学ぶ。 一般的な指導法、参加動機に応じた指導法、健康の確保、安全の管理について学ぶ。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、健康・安全の確保の仕方、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。		自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。		
評価の仕方	授業態度 実技テスト		小テスト 発表内容		授業態度 課題提出状況		

スポーツ I

2 年スポーツ健康

教科	保健体育	科目	スポーツ I	単位数	1	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)
1 学習の到達目標							
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	採点競技や測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方に関する技能を身に付ける。		「する、みる、支える、知る」など自己や仲間が多様に「スポーツ I」と関わる上で、採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。		採点競技及び測定競技の学習に主体性に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		

スポーツⅡ

2 年スポーツ健康

教科	保健体育	科目	スポーツⅡ	単位数	2	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）
1 学習の到達目標							
球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これからのスポーツの高度な技能と審判法を習慣化できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	・スポーツⅡを多様に実践するための事項を理解している。 ・スポーツⅡを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・球技の多様な楽しさや喜びを深く味わうとともに、多様な志向及び体力や技能等の違いの中で、球技を継続的に楽しむことができる技能や、イベントの運営、地域スポーツの推進に貢献するなど、球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方に関する技能を身に付けている。		・「する、みる、支える、知る」など、自己や仲間が多様に「スポーツⅡ」と関わる上で文化的、社会的、経済的側面など多角的な視点での課題を発見し、主体的に思考し判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師などに筋道を立てて理論的に伝えたりすることができる。		・科目のねらいを達成するための学習に主体的に取り組もうとする意思をもつことができる。 ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようすることに意欲を高めた、自己や仲間の体力や技能の程度等に配慮したり事故の危険性を未然に回避したりするなど、健康・安全を確保することができる。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		

スポーツⅢ

2 年スポーツ健康

教科	保健体育	科目	スポーツⅢ	単位数	1	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）
1 学習の到達目標							
武道及び諸外国の対人的競技等の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。 （１）武道および諸外国の対人的競技等の推進および発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につける。 （２）武道および諸外国の対人的競技等における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 （３）武道および諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	武道および諸外国の対人的競技等の推進および発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につけることができる。		武道および諸外国の対人的競技等における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。		武道および諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養うことができる。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		

スポーツⅣ

2 年スポーツ健康

教科	保健体育	科目	スポーツⅣ	単位数	1	教科書名(発行所)	現代高等保健体育改訂版(大修館書店)
1 学習の到達目標							
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。		ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われている。		ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。		
評価の仕方	上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		上記の観点を踏まえ、実技テスト、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価を行う。		